

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)摂津市千里丘東1丁目 新築	階数	地上8階、地下0階
建設地	大阪府摂津市千里丘東	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年2月5日
敷地面積	2,448 m ²	作成者	株式会社TKI設計 工藤貴紀
建築面積	809 m ²	確認日	2024年2月5日
延床面積	4,614 m ²	確認者	株式会社TKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.2
温熱環境	2.8
光・視環境	3.1
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.4
耐用性	2.7
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.0
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	緑地をできる限り設けることによって、敷地内外環境の向上を目指した	その他 特になし
Q1 室内環境	使用建材にできる限りF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を設けることによって景観と住環境の向上を目指した
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 特になし
Q2 サービス性能	大容量ブロードバンドの利用が可能な設備の設置	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	(仮称)摂津市千里丘東1丁目 新築工事							
	建設地	大阪府摂津市千里丘東							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+				
①	CO2削減				4				
②	みどり・ヒート アイランド対策				3				
③	建物の断熱性				4				
④	エネルギー削減				5				
⑤	自然エネルギー直接利用				○				
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告	対象外
-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	太陽光発電システムの採用	